

## NPO千羽鶴未来プロジェクトへの協力と支援のお願い 祈る平和から創る平和へ

21世紀を生きる者にとって、人類の共存という平和の構築と人類と自然との共存という環境の問題は大変重要なテーマです。千羽鶴未来プロジェクトは再生をキーワードにこれら二大テーマを具体化する活動として異文化理解、相互援助(鶴の恩返し大作戦)、リサイクル意識の向上や平和教育のきっかけ作りに取り組むことを活動の目的としています。

平和を祈念して折られた千羽鶴は広島市の平和公園だけでも年間10トンのゴミになり、その殆どの行く末は焼却処分という現実の裏側では、多くの学校、地域社会での平和学習やそれに付随する活動がある意味年中行事化しているという事実があります。とにかく折られる鶴の数を増やす事や、より巨大な鶴を折ることなどといったことが行われており、ただ祈念碑、慰霊碑に折り鶴を捧げることがあたかも最終目的であるかのようです。

世界に目を向ければ、戦争は決して過去のものではないことは明らかです。たとえ、戦争が終結した地域、国であっても、復興にはあまたの年月と膨大な資金、そしてそれをささえる希望の力が必要であることは言うまでもありません。かつての日本も戦後の廃墟から逞しく立ち上がり、再生を果たし今日に至ってきました。日本の復興の歴史は今、戦禍から立ち上がろうとしている多くの国の人々にとってのあこがれであり希望の象徴とみなされているといっても過言ではありません。さりならば、日本の成し遂げた戦争からの再生をキーワードにして、平和を求める日本人の心を復興途上の国々、地域の子供たちに贈れないものでしょうか。あえて言うなら祈る平和から一歩進んで、よりひろく現在の世界を視野に入れた創る平和への象徴として千羽鶴を再生活用するのがNPO千羽鶴未来プロジェクトです。

千羽鶴未来プロジェクトは発足以来、広島をその活動の中心としてきたことで、広島地域のテレビ、マスコミでは多くとりあげられ、徐々に活動の認知度もあがってきています。その結果、広島県、沖縄県などの地方行政関連機関、さらに環境省をはじめとする政府関連機関からも有形、無形の御支援、御協力をいただくまでになってまいりました。また、ホームページでの情報発信や、さまざまなイベント、講演会による広報活動を通して多くの人々の賛同と活動への参加も広がり始めておりますが、未だ日本全国レベルでの認知度向上には至っていないのが隔靴搔痒の現状でございます。さらに千羽鶴の再生紙化やノート製作、海外の戦災復興地の子供たちへの配布、運搬等には多くの費用がかかります。

そういった活動をささえる資金調達の面におきましても今後日本全国は言うに及ばず、海外に向けてのプロモーションも必要と考えております。その一つとして、現在日本国内におきましては、企業、団体、学校、学会、コンベンションなどのネームやロゴなどをいれた特注の再生紙ノート、ボールペン、さらには出版物、名刺、封筒などへの再生紙の供給もいたしております。今後も皆様方からのアイデアや御意見を頂きながら再生紙の活用と多様化させていき、より多くの人々になじむ活動と展開していく所存でございます。再生と平和な未来、共生と相互扶助を求めて、微力ではありますが思いを共にする人々の輪を広げていければ幸いです。

企業、団体各位におかれましては、以上趣旨、目的に御理解を賜り、御寄付および活動のサポート、宣伝普及等を通じて、御支援、御協力くださいますようお願い申し上げます。



NPO千羽鶴未来プロジェクト  
理事長 重松まゆみ